法人税法特講

選択　　2単位

萩原　正幸

1. 授業の概要（ねらい）

本講義は、わが国の法人税の仕組みを体系的に捉えた上、重要な項目、規定について詳細に学習します。さらに実務上の観点からの問題、課題を踏まえ、代表的な判例について検討を行います。

2. 授業の到達目標

・法人税の仕組みを体系的に理解する。
・法人税の重要項目の内容を理解し、具体的な計算方法を修得する。
・実務上の問題点を踏まえ、重要な判例の争点を修得する。

3. 成績評価の方法および基準

授業への貢献度とレポートの内容を考慮し、総合的に評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書
岩﨑建久　租税法　税務経理協会

5. 準備学修の内容

法人税の各項目の制度の趣旨、内容または判例の概要を参考文献を読み、確認しておいてください。

6. その他履修上の注意事項

実務上の観点から、実践的な内容を取り入れますので、特に税務に興味がある院生、現在税務に就かれている院生の参加を期待します。

7. 授業内容

【第1回】　ガイダンス－法人税の体系・仕組について①
【第2回】　ガイダンス－法人税の体系・仕組について②
【第3回】　重要項目の研究－益金の額の計算①
【第4回】　重要項目の研究－益金の額の計算②
【第5回】　重要項目の研究－損金の額の計算①
【第6回】　重要項目の研究－損金の額の計算②
【第7回】　重要項目の研究－損金の額の計算③
【第8回】　重要項目の研究－税額計算
【第9回】　重要項目の研究－申告書別表の機能、税法上の資本の部
【第10回】　判例・裁決例の研究①
【第11回】　判例・裁決例の研究②
【第12回】　判例・裁決例の研究③
【第13回】　判例・裁決例の研究④
【第14回】　判例・裁決例の研究⑤
【第15回】　総まとめ